

2016年3月期
第1四半期決算説明資料

2015年7月17日

P3 第1四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第1四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 従業員の状況

【不動産事業】

P9 第1四半期 損益計算書

P10 第1四半期 連結貸借対照表

P11 2015年3月期 連結業績予想と進捗状況

第1四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当1Q累計期間	構成比	前1Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	4,153	100.0%	4,232	100.0%	98.1%
営業利益	238	5.7%	275	6.5%	86.6%
経常利益	245	5.9%	270	6.4%	90.6%
純利益	159	3.8%	147	3.5%	108.8%

✓ パチンコホール業界は、依然ユーザー数が減少するなど、厳しい状況が続いており、当連結会計年度における新規出店においても既存ホールを居抜き取得し、改装オープンするなどの小型案件が増えているものの、全体としては例年に比べて盛り上がりには欠ける状況となりました。

✓ 主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアや屋外広告の積極的な拡販活動を展開し、新たに異業種に向けたプリンティング、デザイン受託業務を開始し、収益の底上げに努めました。

✓ 結果、当第1四半期の売上高は4,153百万円(前年同期比▲1.9%)、営業利益は238百万円(同▲13.4%)、経常利益は245百万円(同▲9.4%)、純利益は159百万円(同+8.8%)となりました。

事業の種類別セグメント

□当第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	4,100	36	16	-	4,153
セグメント利益	329	14	▲7	▲98	238

□前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲94	▲2	16	-	▲79
セグメント利益	▲59	▲2	▲7	+30	▲37

✓ 当第1Qの売上高は、飲食事業を含むその他事業で上積みがあったものの、パチンコホール広告および通販広告の広告事業が前年同期を下回り、連結ベースで▲79百万円、また前年に比べ、全社調整額の削減が進んだものの、セグメント利益は▲37百万円となりました。

第1四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当1Q累計期間	前1Q累計期間	前年同期比
売上高	4,100	4,194	97.8%
営業費用	3,771	3,806	99.1%
セグメント利益	329	388	84.9%

✓ 当第1Qのホール広告市場は、前期に引き続き、広告規制に伴う需要の減少に加えて、ホール経営企業の収益性悪化を要因とした広告費削減が断続的に続きました。

こうした環境下で広告事業では、

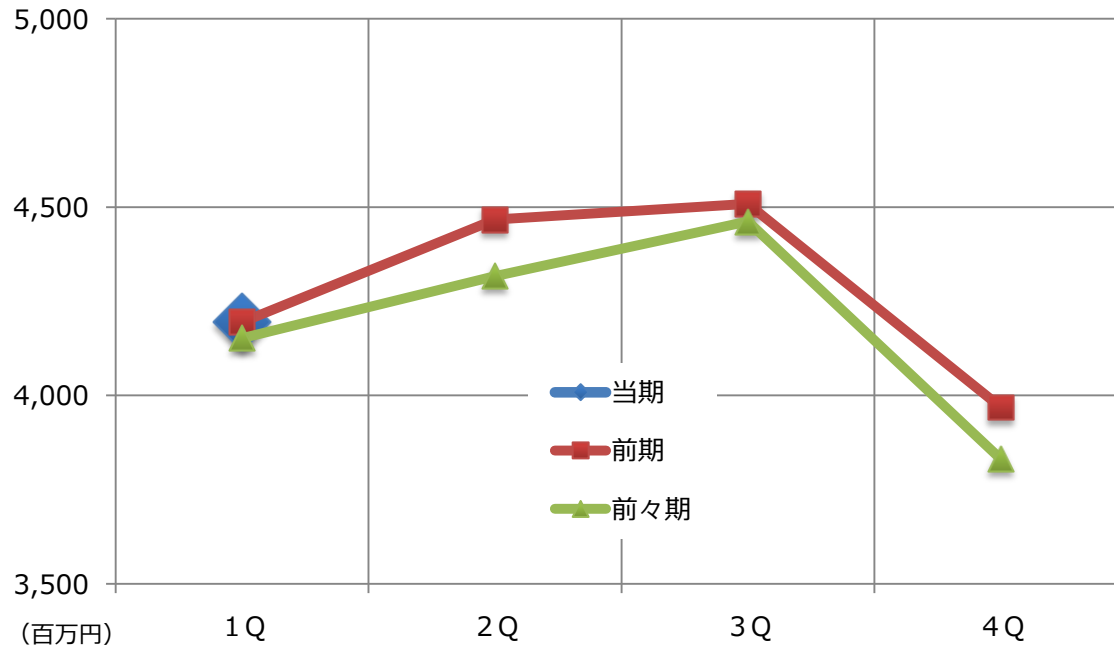
- ・特需案件の確実な受注に向けた営業活動と併行して、インターネット広告や屋外広告の取扱比率向上に向けた提案を推進
- ・デザイン業務の効率化によるコストダウン、協力会社の見直しによるDM関連原価の削減に着手
- ・異業種法人顧客向けのプリンティング、デザイン受託業務を本格開始

✓ これらの取り組みに広告事業の売上高は4,100百万円(前年同期比▲2.2%)、セグメント利益では329百万円(同▲15.1%)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	4,100	-	-	-	4,100
前期	4,194	4,467	4,509	3,968	17,138
前々期	4,152	4,317	4,462	3,831	16,762

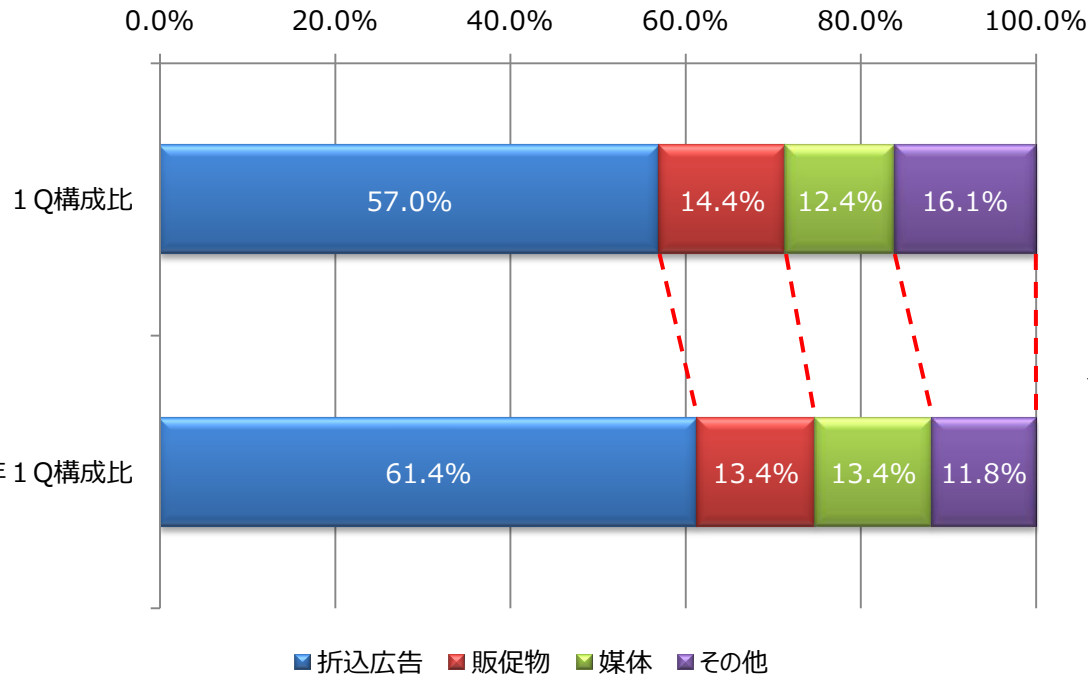


✓ 当第1Qにおける広告事業の売上高は、前年同期に比べ94百万円減少しています。

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当1Q累計期間	構成比	前1Q累計期間	構成比	前年同期比
折込広告	2,338	57.0%	2,574	61.4%	90.8%
販促物	592	14.4%	562	13.4%	105.4%
媒体	509	12.4%	563	13.4%	90.4%
その他	660	16.1%	495	11.8%	133.7%
	4,100	100.0%	4,194	100.0%	97.8%

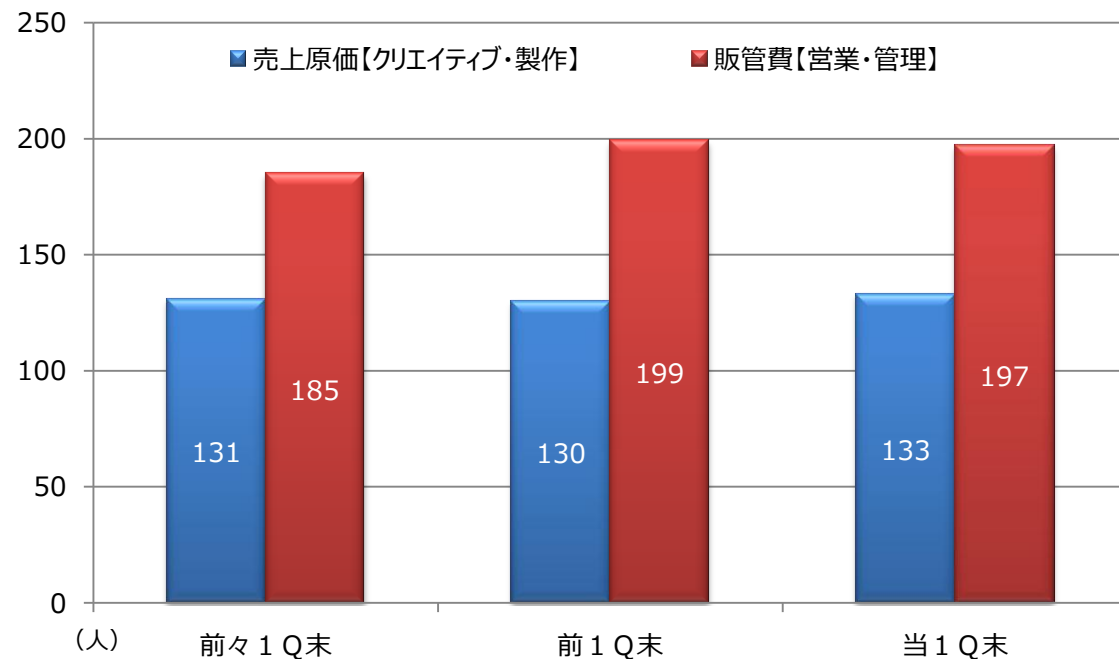


✓ パチンコ広告事業の主力メディアである折込広告が、前年同期比で235百万円減少した結果、構成比も4.4ポイント低下しました。

従業員の状況(広告事業)

(単位：人)

	前々1Q末	前1Q末	当1Q末
売上原価【クリエイティブ・製作】	131	130	133
販管費【営業・管理】	185	199	197
広告事業計	316	329	330



✓ 当第1Q末の従業員数は、前1Q末と比較して大きな変化はありませんが、ゲンダイエージェンシーのクリエイティブは前1Q末比で▲18人、ジュリアジャパンのクリエイティブは同+22人となっています。

第1四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当1Q累計期間	前1Q累計期間	前年同期比
売上高	36	38	95.4%
営業費用	22	22	100.0%
セグメント利益	14	16	92.6%

✓ 当第1Qにおいては、既存契約で契約中の2件の他に、新たな成約案件は無かったことから、売上高は36百万円(前年同期比▲4.6%)、セグメント利益は14百万円(同▲7.4%)となりました。

第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当1Q末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	3,494	3,309	▲185
受取手形・売掛金	2,105	1,999	▲106
その他流動資産	305	248	▲57
有形固定資産	939	970	31
無形固定資産	321	301	▲20
投資その他資産	961	912	▲49
資産合計	8,129	7,741	▲387
支払手形・買掛金	1,220	1,215	▲5
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	460	460	-
未払法人税等	234	113	▲120
その他流動負債	334	237	▲97
長期借入金	490	425	▲65
その他固定負債	18	18	-
負債合計	2,758	2,469	▲288
株主資本	5,353	5,222	▲131
その他	17	49	32
純資産合計	5,370	5,272	▲98
負債・純資産合計	8,129	7,741	▲387

①納税、配当による現金および預金の減少

②四半期純利益+159百万円
利益配当▲235百万円

2016年3月期 連結業績予想と進捗状況

(単位：百万円)

	2016年3月期 1Q実績	2016年3月期 2Q累計予想	進捗率	2016年3月期 通期予想	進捗率
売上高	4,153	8,350	49.7%	16,700	24.9%
営業利益	238	610	39.0%	1,220	19.5%
経常利益	245	610	40.2%	1,220	20.1%
当期純利益	159	405	39.3%	810	19.6%

✓ 2015年4月17日に公表の業績予想に対して、概ね当初計画通りに推移していることから、業績予想の変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334